

サウンディング型市場調査実施結果

1 目的

築年数の経過した市立小中学校のプールについて、今後のあり方やプール授業の民間委託などについて検討を進めるにあたり、事業方式や市場性等について調査することを目的に次のとおりサウンディング調査を実施しました。

2 個別対話の実施概要（アイデア及びノウハウの保護のため、個別に実施しました）

(1) 調査の内容

小中学校のプールの整備・運営方法について

(2) 場所

盛岡市役所 都南分庁舎（盛岡市津志田14-37-2）特別会議室

(3) 対象者

事業者等（事業に興味をお持ちの法人、法人のグループ、事業をお考えの方）

(4) 実施経過

実施要領の公表 令和3年9月15日（水）

申込締切 令和3年10月14日（木）

個別対話 令和3年10月26日（火）～27日（水）

3 対話の結果（主な意見・内容等（民間事業者のノウハウ等に関するものを除く））

○民間事業者が運営するプールへ授業を委託することの市場性等

- ・指導まで含めた委託のほか、レーン貸しのための可能性もあること。
- ・監視員については民間事業者側で出す方法、学校側で出す方法など様々であり、その態様によって、事故発生時の責任の所在等が変わってくる可能性があること。
- ・午前中や、夕方以降は一般利用で混雑する傾向があること。
- ・一般客との兼ね合い（プールや更衣室のキャパシティの都合）から、十分な受け皿を確保するのは難しい可能性があること。

○既存の学校プールを改修し学校間で共同利用すること、市所有のプールを改修して共同利用することの市場性等

（共通）

- ・学校プールを一般開放した場合でも一般利用ニーズは限定的と考えられること。
（マスターズスイマー等のニーズは一定程度あるものと思われる。）

- ・温水プールであっても、夏のほうが混み合うことから、授業の時期をずらしたほうがより多くの学校を受け入れられる可能性が高いこと。
- ・プールは収益性の高い施設ではなく、独立採算の可能性は低いこと。
- ・機器の保守や指定管理者としての人員確保の観点からは、通年利用の施設とすることが望ましいこと。
- ・プールの深さは水深台で調節でき、調整自体は大きな手間とはならないこと。
- ・水泳指導については、派遣インストラクターによる対応もありうること。
- ・プール改修の時期は、冬前の9～10月頃が望ましいとこと。

(市有プールの拠点化)

- ・屋外市有プールには、屋根をかけることで、利用可能期間を延ばしたり、天候に左右されないようにする効果が考えられること。
- ・都南中央公園プールは、大型バス送迎に対応できる道路や駐車場等の確保が課題であること。
- ・プールを温水化する場合、高額な光熱水費や、修繕等の継続的支出が見込まれること。

(学校プールの拠点化)

- ・拠点学校プールにおいて一般開放も行う場合には、動線・利用時間等を分けることや、塩素濃度の十分な管理などが必要になると思われること。
- ・コンクリート躯体は40～50年程度が寿命と考えられること。

○授業用のプールを新設することの市場性等

- ・事業者による施設の新設（PFI含む）や施設の所有は、ハードルが高いと思われること。
- ・新設の場合には、可動床の選択肢もあること。

○その他、事業実施に当たって市に期待する支援や配慮してほしい事項など

- ・体育教員のいない小学校においては、特に授業の質の確保が喫緊の課題であること。
- ・市がプールの集約化と併せて授業の質の向上に取り組むことで、指導員の働き口の確保や指導員を目指す人の増加、ひいてはスポーツ振興につながるなどよい循環が生まれる可能性があること。
- ・プール改修にあたっては、発注者側も一定程度の専門知識を有していることが重要であること。
- ・組立式プールや、リースも可能性としてあること。

4 今後について

いただいた御意見等をもとに今後の学校プールのあり方について検討を行い、対応方針を整理する予定です。